

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4611		
科目名	危機管理特殊研究 1		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1209	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況, 及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し, 適切に対応することができる。 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ, 偏りを排除するための内省をもって, 問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し, それに対する答・結論・判断を合理的に導くために, 論拠の収集と分析を体系的に行うとともに, オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし, 検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現, 数値データを適切に扱いつつ, 情報の収集と取捨選択, 分析と加工を有効かつ円滑に行い, 課題の解決につなげることができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で, 自らの考えを的確に表現し, 他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジスキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 C1 倫理的思考・社会認識 (5%) E1 学識と専門技能 (10%) F1 探求と論拠 (10%) F2 課題解決 (10%) G1 状況把握 (10%) H1 論理的思考 (10%) H2 批判的思考 (10%) I1 理解・分析と読解 (10%) K1 ライティング・コミュニケーション (10%) K2 オーラル・コミュニケーション (10%) M1 統合的・応用的学修 (5%)		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し, 以後35年余にわたり警察行政等に従事した経験を適宜踏まえつつ, 授業を行います。(第3～15回)		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう, 学生自身が危機管理に関する具体的な業務, 資格などに関する専門的な研究を行い, 実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が, 自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し, 学生が自らのキ		

	キャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を修得するための基礎的な指導を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業手法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：危機管理、安全確保、事件・事故								
授業の趣旨	■副題 安全確保のための法とその運用に関する研究 ■授業の目的 様々な社会事象に内在するリスクを読み取り、その展開を予測し、被害防止・軽減のための的確な対処方法を考える能力を培うことを目的とします。 ■授業のポイント 過去の教訓に基づく安全確保のための法制度とその運用事例についての検討・議論を通じ、リスク管理の様々な手法への理解を深めるとともに、多面的な分析・判断力の修得を図ります。								
総合到達目標	■危機管理上の諸問題を正しく理解し、分析し、合理的かつ現実的な対処方法を提示することができる。 ・課題や問題点の抽出、論点整理を適切に行うことができる。（第3～15回） ・調査・分析に必要な資料を適切に収集・活用できる。（第2～15回） ・報告すべき事項を的確に表現・説明できる。（第3～15回）								
成績評価方法	■授業参加度（60%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K2・M1 （評価の観点）予習状況（特に他学生発表回に係るもの）を含む受講態度、議論の積極性等について評価します。 （フィードバックの方法）必要に応じてコメントします。 ■プレゼンテーション3回（40%）：適用ルーブリック：C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1 （評価の観点）プレゼンテーションの内容（調査・準備の充実度、論理性等）や技法について評価します。 （フィードバックの方法）プレゼンテーション終了後、教員から講評を行います。								
履修条件	特になし。								
履修上の注意点	演習形式の授業は各自の十分な準備（予習）と積極的参加がなければ効果が上がらないことを認識して臨むことのほかは、特になし。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方、評価方法等について説明するとともに、学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 報告担当テーマ選定、グループ編成、資料調査、レジュメ等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマの選定とグループ編成を行うとともに、報告に向けた資料調査やレジュメ等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自分のグループの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む）、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方、評価方法等について説明するとともに、学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。	2	①授業テーマ 報告担当テーマ選定、グループ編成、資料調査、レジュメ等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマの選定とグループ編成を行うとともに、報告に向けた資料調査やレジュメ等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自分のグループの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。	3	①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む）、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1）
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員から授業の進め方、評価方法等について説明するとともに、学生相互の自己紹介等を行って第2回以降の円滑な意思疎通の基礎を作る。（I1・K2） ③予習（60分） シラバス及び事前配布資料に目を通しておく。 ④復習（180分） 講義の趣旨目的と自分の関心事項を踏まえて報告テーマを検討する。								
2	①授業テーマ 報告担当テーマ選定、グループ編成、資料調査、レジュメ等作成 ②授業概要 各自の関心を踏まえて報告担当テーマの選定とグループ編成を行うとともに、報告に向けた資料調査やレジュメ等作成の方法を理解する。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） ③予習（120分） 事前配布資料を参考にして候補となる報告担当テーマを考える。 ④復習（120分） 自分のグループの担当テーマについて報告すべき内容と作業スケジュールを考える。								
3	①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む）、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1）								

	担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
4	①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて，当該報告に係る治安事象の社会的背景，社会的意味，法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む），今後の課題等について議論し，治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
5	①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて，当該報告に係る治安事象の社会的背景，社会的意味，法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む），今後の課題等について議論し，治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
6	①授業テーマ グループ報告及び全員討議 ②授業概要 担当グループの報告を受けて，当該報告に係る治安事象の社会的背景，社会的意味，法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む），今後の課題等について議論し，治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
7	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて，当該報告に係る治安事象の社会的背景，社会的意味，法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む），今後の課題等について議論し，治安上のリスク管理の手法への理解を深める。（C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習（120分） 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み，論点，疑問点等を整理しておく。 ④復習（120分） 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
8	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて，当該報告に係る治安事象の社会的背景，社会的意味，法令等の整備・運用状況（組織体制の整備等を含む），今後の課題等について議論し，治安上

	のリスク管理の手法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
9	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況(組織体制の整備等を含む)、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
10	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況(組織体制の整備等を含む)、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
11	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況(組織体制の整備等を含む)、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
12	①授業テーマ 個別報告及び全員討議 ②授業概要 担当者の報告を受けて、当該報告に係る治安事象の社会的背景、社会的意味、法令等の整備・運用状況(組織体制の整備等を含む)、今後の課題等について議論し、治安上のリスク管理の手法への理解を深める。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 事前に指示された報告テーマに関する資料を読み、論点、疑問点等を整理しておく。 ④復習(120分) 報告された内容や報告技法・調査手法で自分の今後の調査研究に役立つと思われるものを整理しておく。
13	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要

	卒業研究テーマの選定に向け、各自が関心を有するテーマとその研究方法について概要を説明し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 候補テーマ(説明予定回の前週に提示予定)に関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明者は自らの説明の準備を行う。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。
14	①授業テーマ 研究候補テーマ説明 ②授業概要 卒業研究テーマの選定に向け、各自が関心を有するテーマとその研究方法について概要を説明し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行います。 ③予習(120分) 候補テーマ(説明予定回の前週に提示予定)に関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明者は自らの説明の準備を行う。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。
15	①授業テーマ 研究候補テーマ説明及び第1回からの授業全体のまとめ ②授業概要 卒業研究テーマの選定に向け、各自が関心を有するテーマとその研究方法について概要を説明し、全員で意見交換を行う。(C1・E1・F1・F2・G1・H1・H2・I1・K1・K2・M1) 担当教員の実務経験を踏まえて適宜補足コメント等を行うとともに、15回の授業全体を総括します。 ③予習(120分) 候補テーマ(説明予定回の前週に提示予定)に関し何らかのコメントができる程度に調べておくほか、説明者は自らの報告の準備を行う。 ④復習(120分) 意見交換等の結果を踏まえて研究テーマや研究方法について再考する。説明者以外も、自らのテーマ選定や研究方法の参考となるべき事項を整理しておく。
関連科目	「危機管理基礎演習Ⅱ RMGT2602」(2年次後学期配当)、「危機管理特殊研究2 RMGT4612」(3年次後学期配当)、「危機管理特殊研究3 RMGT4613」(4年次前学期配当)、「危機管理特殊研究4 RMGT4614」(4年次後学期配当)
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	必要の都度、授業及びClassroomで指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間帯も、必要に応じてメール等を通じた事前予約により対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%; パブリックセキュリティ70%; グローバルセキュリティ10%; 情報セキュリティ10% ■危機管理と法学のバランス 危機管理50%; 法学50%

